

実際の入試問題を使って、この講座の効果をご説明します

## 医学史 No.7

### 感染症の歴史 —— ペストとスペインかぜが変えた社会と医学

★ 清光学院の講師は、感染症学・医学史の教育・研究に携わってきた大学教員です。感染症の歴史を「過去の出来事」として暗記する受験生と、「社会・制度・科学の変容のエンジン」として論じられる受験生の答案の差を採点者として繰り返し目にしてきました。

#### 1. この講座が有効な入試問題のタイプ

##### ① 感染症と社会変容を問う論述問題

医学部入試の小論文・記述問題では「ペストは中世ヨーロッパの社会構造をどう変えたか」「スペインかぜが現代の感染症対策に与えた影響を論述せよ」という問題が出題される。具体的な歴史的事実と社会・医学への影響を結びつけて論じられる受験生は採点者から高評価を得る。

##### ② 公衆衛生・検疫制度の成立を問う問題

「近代的な検疫制度はいつ、なぜ生まれたか」「感染症対策と人権・社会的コストのトレードオフを論じよ」は推薦・総合型選抜の頻出設問である。

##### ③ COVID-19と歴史の教訓を問う現代的問題

「スペインかぜとCOVID-19の対応を比較し、歴史から何が学べるか論じよ」は2020年代の医学部推薦で頻出のテーマである。

#### 2. 具体的な大学・学部との対応

大学・学部	出題の傾向	本講座との対応
旧帝大医学部（全般）	感染症の歴史・社会変容の論述問題	歴史的事実と社会・医学の変容を結びつけた論述
慶應義塾大学 医学部	公衆衛生・検疫制度の成立に関する問題	制度の起源と合理性を論じる力
医学部推薦・総合型選抜（全般）	COVID-19と感染症の歴史の比較論述	現代の問題を歴史的視点から論じる力
小論文（医学系全般）	「パンデミックが社会に与える影響」論述	具体的な歴史的事実を根拠に使う力

#### 3. なぜ差がつくのか・受講後に期待できる変化

感染症の歴史を「年号と出来事の暗記」で対応している受験生は、論述問題で「ペストが起きました、社会が変わりました」という薄い答案しか書けない。受講後には（1）感染症が引き起こした社会構造・政治・宗教・経済の変容を具体的に論じられる、（2）近代公衆衛生の成立背景を制度論として説明できる、（3）歴史の教訓を現代問題に接続した論述ができる、という変化が起きる。

この講座が与えるのは「感染症と社会の関係を論じる視点」であり、医学史・公衆衛生・社会医学を貫く力として持続する。